

平成28年9月能代市議会定例会

市長説明要旨

平成28年9月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要を御報告いたします。

初めに、庁舎整備事業についてであります。新庁舎建設工事につきましては、9月30日の工期までに完成する見込みであります。

工事完成後、庁内LAN等のネットワークの整備等を行うとともに、什器類を搬入し、平成29年1月4日に新庁舎の供用を開始したいと考えており、年末に引越し作業を行う予定としております。

なお、ネットワークの整備等が一段落し、安全が確保されるめどがついた時点で、市民の皆様にも新庁舎見学の手を設けたいと考えております。

総合戦略についてであります。総合戦略の進行管理の一環として、8月29日に能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を開催し、数値目標及び重要業績評価指標KPIの達成状況の確認や、平成27年度に実施した地方創生先行型交付金事業の効果検証を行いました。同会議では、進捗状況に関し、委員の皆様から様々な御意見等が出されており、今後の施策や事業の推進等に反映させてまいりたいと考えております。

また、地方創生加速化交付金については、先の6月定例会で予算を追加提案するとともに、国に応募・申請しておりましたが、8月30日付けで交付決定があったことから、事業に着手したところであります。

宇宙関連行事についてであります。「第12回能代宇宙イベント」が、あきた宇宙コンソーシアムを実施主体として、8月18日から9日間の日程で開催されました。期間中、全国からの参加者は、大学生・高校生等合わせて約600名となったほか、一般公開日には市内外の多くの方々からおいでいただきました。

開催にあたり、会場の整地及び草刈り作業等、多大なる御支援、御協力をいただきました能代山本建設業協会の皆様や秋田県をはじめ関係各位に深く敬意を表します。

また、9月3日、4日の両日にわたり、「のしろ銀河フェスティバル2016」を開催いたしました。能代エナジウムパーク等、3施設を会場として、多くの方々から御来場をいただきました。今回は、初の試みとして、河畔公園においてペットボトルロケット定点着地競技、子ども館では、プロジェクションマッピングや夜空の映画館等を実施しております。

市といたしましては、こうしたイベントの開催等を通じて、児童・生徒の宇宙科学に対する関心を高めるとともに交流人口の増加等を図り、宇宙のまち能代を全国

にPRしてまいります。

次に、市立保育所の今後の方針の見直しについてであります。民間移管を進めるとしていた方針について、保護者や関係機関の皆様から御意見をいただき、見直しをいたしました。

その内容であります。従来どおり民間移管を基本としながらも、国、県の動きや入所児童数の動向のほか、地域の状況を踏まえ、定員の見直しや施設の廃止をあわせて検討し、その方向を決定することといたしました。

これを受けて、第四保育所については、国の新制度に伴い民間の受け入れ体制が充実したこと等により、廃止した場合でも、他の施設で受け入れは可能であることから、平成34年度末で廃止することとしております。

今後は、他の市立保育所についても検討を進めてまいります。子どもの保育環境や保護者の意向等に十分配慮してまいりたいと考えております。

能代市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画についてであります。平成30年度から32年度までを計画期間とする両計画を、29年度末までに策定いたします。

現在、計画策定に先立ち、日常生活圏域ニーズ調査を年度内に実施するための準備を進めております。この調査は、高齢者を取り巻く環境等の分析のほか、介護予防が必要な方を個々に把握するため、65歳以上全員を対象に実施することとしております。

計画策定に当たっては、ニーズ調査の結果のほか、国の制度改定の動向や活力ある高齢化推進委員会の御意見等を踏まえ、地域の実態に即したものとなるよう努めてまいります。

B型肝炎ワクチンの定期接種についてであります。予防接種法の政省令改正により平成28年10月1日から定期接種を実施することとなりました。対象者は、28年4月1日以降に生まれた1歳未満の乳児で、接種回数は3回となります。今後、対象者へ無料接種券等を郵送するほか、ホームページ、広報のしろ等により周知を図る予定としております。

また、市独自の措置として、9月30日までに自己負担により接種された対象者の料金については、市の接種委託料を上限に助成することとし、子育て世帯の負担軽減を図りたいと考えております。

次に、（仮称）イオン新能代ショッピングセンターについてであります。イオ

ングループのディベロッパー部門の責任者から、市に対して報告がありました。その内容であります、「引き続き、建設業者とコスト低減のための調整を行っている。また、開発行為等については、個別課題の調整が最終段階まで来ており、年内の本申請に向けて作業を進めている。」とのことであります。

企業誘致についてであります。8月26日に、県と合同で、株式会社ホクエツ秋田能代工場の誘致決定通知書交付式を行い、本市において今年3社目となる誘致企業に決定しました。

今月末の操業開始に向け、建設工事が進められておりますが、同工場の進出は、雇用創出に加え、能代火力発電所で発生するフライアッシュも活用してコンクリート製品を製造することから、地域資源の有効活用にもつながるものと期待しております。

風力発電事業の市民ファンド募集についてであります。このたび、市が出資している風の松原自然エネルギー株式会社において、同社の資金調達の一環として市民ファンド2億円が募集されることとなりました。

この取り組みは、能代市再生可能エネルギービジョンに沿うものであり、今後の再生可能エネルギー事業のモデルになるとともに、将来的には市民の経営参画も視野に入れた発電事業となることを大いに期待するものであります。

クマの出没についてであります。今年は県内各地でクマの出没や人身被害が多発しており、県では、8月26日に関係機関によるツキノワグマ被害防止連絡会議を設置し、9月1日に初めて県内全域に「ツキノワグマ出没に関する警報」を発令しております。

本市でも民家や学校等の近くでの目撃が相次いでおり、8月12日には荷上場地区で80代の女性がクマに襲われ重傷を負いました。

市といたしましては、今後もクマによる被害発生のおそれがあることから、広報のしろや防災行政無線等による市民への注意の呼びかけ及び警察、猟友会、関係機関との連携強化により被害の未然防止に努めてまいります。

市民の皆様におかれましては、農作業やきのこ採りなどの際には十分に注意を払い、被害防止に努めていただきたいと思いますと考えております。

平成29年度の「全国ねぎサミット」能代市招致についてであります。このサミットは、全国の主要ねぎ産地の首長や関係者が一堂に会し、各産地のPRを通じてねぎの消費拡大を図ることを目的としております。

22年度に埼玉県深谷市で始まり、毎年各産地の持ち回りで開催され、本市は、第2回から参加し、白神ねぎをPRするとともに、主要産地関係者との交流、情報交換等を行っております。

昨年度、悲願であった白神ねぎの目標販売額10億円達成を受け、さらなるブランド化や産地化等の取り組み強化を図るため、サミットの能代市開催の実現を目指し、関係団体等と連携しながら、招致に努めてまいりたいと考えております。

能代七夕「天空の不夜城」についてであります。東京ドームで開催された「ふるさと祭り東京2016」の「愛季」を見て、実際の運行も見たいと来られた方もいるなど、平日にもかかわらず大勢の方々に御覧いただき、盛況のうちに無事終えることができました。

運行にあられた能代七夕「天空の不夜城」協議会をはじめ、市内の各事業所、小・中学生等ボランティアの皆様、並びに、秋田ノーザンハピネッツや中央大学準硬式野球部等、御協力いただいた多くの皆様には心から敬意と謝意を表すものであります。

今回は、灯籠通過後の空白感を埋めるために、運行距離を短縮し、観客の視界から灯籠が外れないようにするとともに、太鼓台車1基を新たに製作し、灯籠6基と合せて計7基での運行となりました。また、灯籠を一時消灯し、再点灯するなどの演出の工夫もありました。今後も関係者が一丸となって取り組まれ、完成度の高い楽しい祭りにしていただきたいと思います。

この後、著名なアーティストのライブへ出演することにより、「天空の不夜城」や本市の知名度が、より向上することが見込まれることから、平成29年度の運行に向けて、早いうちから関係団体と連携を強化し、観光客の受け入れ体制の整備や観光情報の提供、旅行商品の開発等に努め、いっそうの観光振興を図り、地域の活性化につなげてまいりたいと考えております。

次に、道の駅ふたつについてであります。建築や造成等の実施設計を進めるとともに、7月12日に道の駅運営検討委員会の各専門部会を設置し、移転整備後の管理運営計画を策定するための検討を始めております。

移転先の用地造成についてであります。昨年度に国土交通省と一体型整備等にかかわる負担割合や施工区分等を定める協定書を取り交わしており、今年度からの用地造成及び舗装については国が施工することとなっております。用地造成につきましては、二ツ井今泉道路事業での掘削土の搬入により、盛土工事が行われることとなっております。

また、国土交通省の事業として道の駅と一体的に整備が行われる河川防災ステー

ション事業につきましては、今年度から事業着手となり、用地取得等が進められていると伺っております。

今後も、国土交通省と連携し、事業の進捗を図るとともに、川の駅エリアにおける親水空間の整備についても、国土交通省との協議や事業採択に向けた要望活動等を引き続き行ってまいります。

次に、単行議案について御説明いたします。

能代市空き家等の適正管理に関する条例の一部改正は、空家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、法律と重複する規定の削除等をしようとするものであります。

公有水面埋立地用途変更は、秋田県が行おうとする公有水面埋立地の用途変更に関し、公有水面埋立法の規定により、能代港港湾管理者秋田県代表者秋田県知事に対して意見を述べようとするものであります。

このほか、土地の取得、市道路線の認定、物品の取得、平成27年度の能代市水道事業会計決算の認定及び能代市下水道事業会計決算の認定について提案しております。

次に、平成28年度能代市一般会計補正予算案の概要を御説明いたします。

このたびの補正予算は、これまでに国、県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業は、当面緊急を要するものについて補正しております。

まず、歳入の主なものとしては、普通交付税の追加、財政調整基金繰入金及び庁舎建設基金繰入金の減額、前年度繰越金の追加、庁舎整備事業債及び臨時財政対策債の減額であります。

次に、歳出の主なものについて御説明いたします。

総務費においては、PCB廃棄物処理事業費1,959万9千円、財政調整基金積立金4億3,832万5千円の計上、庁舎整備事業費2億5,132万5千円の減額であります。

衛生費においては、予防接種費670万5千円を、農林水産業費においては、鳥獣被害（農作物）防止対策事業費168万円、農業法人確保・育成事業費補助金100万円を計上しております。

商工費においては、企業開発費2,200万円を、教育費においては、特別支援教育支援員設置事業費386万3千円を計上しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は2億5,500万円となり、これを既定予算に加えますと一般会計の総額は289億9,300万

円となります。

このほか、平成28年度各特別会計補正予算案につきましては、提案の際、詳細に御説明いたしますので省略させていただきます。

また、承認案件として、専決処分した平成28年度能代市一般会計補正予算を提出しております。

なお、平成27年度能代市一般会計決算及び特別会計決算の認定については、後日追加提案させていただく予定であります。

以上、よろしく御審議の上、適切な御決定を賜りますようお願い申し上げます。